

京都の福祉

発行 京都府社会福祉協議会

本紙は、共同募金の
配分金によってつられています。

2012

1

No.516



主な記事

- 1面…もえくさ
- 2・3面…年頭のあいさつ、人権擁護啓発ポスターコンクール
- 4・5面…第5回全国校区小地域福祉活動サミットin宇治
- 6面…京の企業・東北応援プロジェクト発信事業
- 7面…うちのこれがイチオシ!
- 8面…夢中!・熱中!ふくしびと

高齢者福祉施設 はなそのの 皆さん

もえくさ

新年あけましておめでとございます。いつも、「京都の福祉」ご愛読いただきありがとうございます。この「京都の福祉」は、府内の社会福祉施設やそこで働く人々の御協力も得て発行させていただいています。その社会福祉施設等に従事する役員の方々への研修や社会福祉施設等からの求人情報を登録し、就労を斡旋する事業（無料職業紹介事業）等を行っている組織が、本年4月に二〇周年を迎える府社協の福祉人材・研修センターです。このことは、府内の福祉施設等の関係者の方々にはかなり浸透してきていますが、まだまだ、看護職者やリハビリテーション職の方々、福祉職場への就職を目指す大学生や専門学校生にはご存じない方も多いようです。例えば、高齢者が介護サービスを受けながら暮らす特別養護老人ホームで働く看護師さんは、利用者に寄り添いその生活を支える看護をされています。（本誌八頁）また、特別養護老人ホームと訪問看護ステーションで働く理学療法士さんは、人生の一頁となる生活実現のお世話をされています。（本誌2011年8月号）他にも、様々な方々が福祉の現場を支えており、私たち人材・研修センターの職員一同は、そういった福祉の仕事についている方々と一緒に、より広く府民の方々に福祉の仕事についての理解を深めていただくよう、それぞれの仕事を通じて取り組んでいます。▼また、福祉の仕事は日進月歩。次々と新しい知見や技術の習得が求められます。制度の改正や社会的な環境の変化に対応した新たな課題も生まれます。そういったものの内、社会福祉施設や事業所の方々に共通する課題の一つとして、「福祉人材の育成」の課題があります。各種調査によれば、職場の定着率の低さの原因が「人材育成の不足」にあるとされ、この人材育成不足と定着率の低さが、相互に悪循環を惹き起こしている指摘されます。▼福祉人材は、単に「数」でとらえたり、放任して自然に自己成長するものと考えたりすることはできません。各職場が、意識的な働きかけ、職場環境づくりを行い、従事者が職場で期待される役割や長期的に専門性を身につけるべき目標など、将来にわたる「見通し」を示すことが重要であると考えます。福祉人材・研修センターは、個々の研修受講者の育成・成長をお手伝いすることを通じて、それぞれの社会福祉施設・事業所が行う人材育成を少しでも支援できればと思っております。そして、このような福祉人材・研修センターの仕事を通じて、着実に、福祉サービスの利用者の方々が安心して暮らせる地域社会の実現に寄与していきたいと考えています。▼最後に、今年一年が希望の年となりますよう、皆様と一緒に本会も着実な一歩を歩んでいきたいと思えます。

生きる力を育むまちづくり

京都府社会福祉協議会 会長 柏原 康夫



新年あけましておめでとございませう。

昨年は3月に起きた東日本大震災や、9月の台風12号災害など相次ぐ災害に翻弄された一年でした。災害は、被災された方々の生活基盤を崩しただけでなく、地域のつながりそのものを破壊していききました。仮設住宅等に移り住まれた被災者の方々は、生活の再建とつながりの再生・復興に向けて、様々な苦労とともに日常生活を営まれていることと存じます。私たち福祉従事者には、一人ひとりの願いと向き合いながら、寄り添っていく姿勢が求められているところです。

私は社会福祉の根幹は憲法にあると思っております。生活の基盤を整える社会保障を疎かにせず、人間の尊厳が維持できる環境を作ること、これが福祉の果たすべき役割であると感じております。

また現在、地方が都会であるかを問わず「孤立」・「孤独」が社会問題化していく中で、人々の生きる力を育み支え合うコミュニティづくりを実践することが、更に重要になってきています。

京都府内では地域包括ケアシステムの推進が図られているところですが、本会がすすめてきた高齢者見守り活動等の事業の蓄積を活かしながら、市町村社会福祉協議会や民生委員・児童委員、社会福祉施設や福祉団体、NPO・

企業関係者等の皆様方と協働して、京都府内の地域福祉の充実に一層取り組んでまいります。

本年は、この3年間取り組んできたアクションプランを更に発展させ、新たな中期計画を策定して、引き続き重要な課題である介護・福祉現場の雇用確保と従事者の定着・育成への取組みや孤立を見逃さない地域づくりへの支援をはじめ、本会ならではの活動を積極的に推進してまいります。

本年も昨年同様、ご指導、ご協力をお願いいたしますとともに、新しい年の始めに当たり、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

平成23年度 人権擁護啓発ポスターコンクール

京都府社会福祉協議会会長賞決まる!

人権擁護啓発ポスターコンクールは、府内の小・中・高等学校の児童・生徒が、人権をテーマとしたポスター（絵画）の制作を通じて基本的人権について一層理解を深め、人権尊重の精神を養う機会とするため、昭和59年度から実施しています。平成23年度のコンクールには、198校から4,935点の応募があり、相楽東部広域連合立笠置中学校3年 田口 花帆（たぐちかほ）さんの作品が京都府社会福祉協議会会長賞に決定いたしました。作品は、京都府ホームページでも見ることができます。

（審査委員寸評）

遠近感を強調した巧みな構図により、様々な個性の色を表している風船が、作者のメッセージと一緒に、こちらに向かってふわふわと飛んでくるようです。一人一人が大切にされる社会を築いて行きたいという思いが、世界中に広まっていくようです。



オープンで
サービス向上宣言。



京都 第三者評価

検索

任意の「第三者評価」で全国でナンバー1の受診件数

京都介護・福祉サービス
第三者評価等支援機構

「まごころ」をひとつに

京都から日本を元気に

京都府知事 山田 啓二



府民の皆様、あけましておめでとございませう。昨年、東日本大震災という未曾有の災害が発生しました。また、急激な円高水準による経済・雇用情勢のさらなる悪化の懸念やTPP交渉参加問題など混迷の時代を迎え、現在、そして将来に對しての不安が私たちに覆い被さる、まさに訓練の年でありました。

この大変な年に、私たちは「まごころを整える文化」をテーマに、「第26回国民文化祭・京都2011」を開催しました。大震災の犠牲者に対する鎮魂の祈りを捧げた開会式とともに、オープニングパレードでは被災地から参加いただいた若い世代の方々の元気な演技に、私たちが逆に励まされ、勇気づけられる思いがいたしました。

「日本のまごころ」の素晴らしさを改めて問い直し、地域の「絆」を強める中で次の世代に引き継ぎたいとの願いを込めて開催したこの大会で、若い世代が生き生きと力を発揮し、大きな活躍をする姿に、京都の次代の担い手が育つ確かな手ごたえを感じました。これが、まさに今大会の大きな成果であると思っております。多くの府民の皆様にご参加いただきましたことに改めてお礼申し上げますとともに、開催に当たり多大なご尽力、ご支援をいただきました皆様に心から感謝申し上げます。

今年、国民文化祭で培った「絆」をしっかりとつなぎ、今こそ互いが思いやりの「まごころ」を

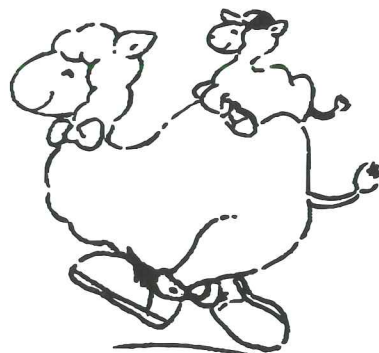
寄せ合い、支え合う社会を築く年にしたいと心から思っています。

府民の皆様と「まごころ」をひとつにし、京都から日本再生の灯りをともしていくためにも、「だけれどがしあわせを実感できる希望の京都」を実現するため全力を挙げて取り組みます。東日本大震災を教訓に、防災対策など皆様の生命と暮らしをしっかりと守るための課題に速やかに対応するとともに、沓掛・大山崎間の開通を控える京都縦貫自動車道や鉄道、港湾など府域の内外を結ぶ交流基盤の整備、また、京都舞鶴港を核に海外を含めた広域観光ルートの整備など、地域発展の基盤づくりを背景に、京都の活力の源である中小企業支援や農林水産業の競争力強化を図りたいと思っております。さらに、NPOや地域団体の皆様の力を融合して、地域おこし、環境・貧困問題といった社会的課題に立ち向かう総合的施策を推進するなど、京都ならではのオール京都体制で、明日に挑戦する府民の皆様的生活を全力で支えていきたいと思っております。

困難に直面している今こそ、子どもたちの未来のために、京都から日本再生への歩みを進め、日本全体を明るく元気に、辰年を立つ年に、飛龍のごとく、飛躍の年にしてまいりましょう。

この一年の、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

勇気ある一步を支える「安心」



ボランティア保険

わずかな保険料で、傷害部分（ボランティア自身のケガ）と、賠償責任部分（活動中他人の身体・財物に損害を与えたとき）が補償されます。

保険料一名につき

Aプラン 300円 Bプラン 500円

ボランティア・福祉活動等行事保険

福祉事業総合補償制度

まごころワイド

もありません

問い合わせ・申込先

(福) 京都府社会福祉協議会

京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375
TEL 075-252-6295

取扱代理店 株式会社エスアールエム

専用ダイヤル 075-822-8613

引受保険会社 三井住友海上火災保険株式会社

※この広告は保険の特徴を説明したものです。詳しくはパンフレットをご覧ください。 3-B-09.4059 2009年10月作成

ご寄付

ありがとうございました

ご寄付ありがとうございました
2011年11月30日(水)に、公益財団法人京遊連社会福祉基金、理事長白川鐘一様より500,000円のご寄付をいただきました。京都府内のボランティア活動振興事業のために活用させていただきます。ありがとうございました。

・小地域福祉活動サミットin宇治

つながり上手で地域をつくる! ~10のご縁で充縁に~
じゅうえん



サミット当日、メッセージを集め被災地へ送りました

11月26日(土)、京都府宇治市にて「第5回全国校区・小地域福祉活動サミットin宇治 つながり上手で地域をつくる! ~10のご縁で充縁に~」が開催されました。本サミットでは、地域でのつながりづくり、縁づくりの大切さを多様な地域活動に携わる人々と実践交流することで確認し、ともに明日からの活動のエネルギーとすることを目的に開催されました。また、今年度は東日本大震災への思いも発信しました。

当日は、町内会や自治会役員、小・中学校区など小地域を基盤とした地域福祉活動の実践者やボランティア活動者、社協職員など、全国から当初の想定を超える約2000名の参加があり、サミット

への関心の高さが覗えました。サミットでは、基調講演のほか、自治会や学区社協など身近な地域での活動や災害をキーワードにした取り組み、地域住民と施設や専門職の連携など10の分科会を行いました。すべての分科会テーマに「縁」という言葉を入れ、つながりを大切にして地域づくりを進めている団体からの実践報告や意見交換を通して、地域でのつながりや縁づくりについて考え、意見交流を行いました。

縁の大切さ

今回のサミットがこれほど注目された理由のひとつには、無縁社会が社会問題としてクローズアップされるなか、地域でのつながりの希薄化や孤立感などにより、改めて小地域単位での住民同士の交流や地域活動が見直されていることが挙げられます。加えて、3月の東日本大震災以

子ども発! それゆけ横縁サポーター (子どもが参加する地域活動)

中で、活動を通して子どもが地域の大人と異世代交流することは地域のつながりづくりになること、高齢者や障害者の方との関わりの中での学びは福祉教育としての効果につながることが分かりました。

子どもの地域活動への参加をテーマにしたC分科会では、子どもが主体となって地域活動に関わっている実践について報告されました。その中で、活動を通して子どもが地域の大人と異世代交流することは地域のつながりづくりになること、高齢者や障害者の方との関わりの中での学びは福祉教育としての効果につながることが分かりました。



福祉協議会に

本サミットを通じて、様々な団体や組織、個人が協働し新たな地域活動やつながり縁づくりの必要性を改めて認識できる場となりました。今後、本サミットで学んだことを基礎とし、社会福祉協議会とし

いざというときの救縁ネットワーク

(災害をテーマとした地域づくり)

G分科会では災害をテーマに、自主防災活動の取り組みや防災ワークショップとして宿泊型避難所体験訓練を行った実践報告がありました。当日の参加者には民生児童委員や市町村社協の職員も多く見られ、災害時に備えた各々の役割に対する意識の高さが覗えました。

まとめでは、学校・地域の公共施設を地域の資源として活用していくことや他の地域の災害から学び、自分たちの地域に置き換えて考えること、また災害時に備え、普段の活動から地域と住民との結びつきを強固なものにしていく必要があるということに参加者と確認できました。

分科会 G



「コラボネット宇治」

開催地である宇治市社会福祉協議会では「コラボネット宇治」の愛称を掲げ、地域のコーディネーターとして社会資源の「コラボレーション」を展開しており、常日頃から地域住民と関わり、活動を展開しています。サミット後半のまとめのパネルディスカッションでは、これからの地域活動で大切にしていきたいことについて、宇治で活動している実践者からの発信がありました。



まとめ 見直された

降、地域での「つながり」や「縁」の大切さが改めて着目されていることもあり、関心が高まったと思われる。

どの地域でも活動そのものを維持することが難しくなっているなど、同じような課題を抱えており、そのような課題を克服していくためにも、ともに学びあい、交流しあうことで、今ある活動を充実、活性化していく方法を探っていくことが大切だと思います。

“縁”をつなぐ社会

て地域の社会資源を巻き込みながら、いかに小地域福祉活動を発展させていくか、各市町村社協の手腕の見せ所となります。京都府社協としても、各地域の実態を踏まえながら、京都府内全体の小地域福祉活動の充実に向け、地域福祉の推進に取り組みでいきたいと思えます。

プログラム

基調講演

講師：「第5回全国校区・小地域福祉活動サミットin宇治」実行委員会
名誉実行委員長 牧里每治氏（関西学院大学人間福祉学部 教授）
まとめのパネルディスカッション つながり上手で地域をつくる！

パネラー：宇治学区福祉委員会 副委員長 海老名典子氏
宇治市社会福祉協議会 事務局長 岡野英一氏
府営西大久保団地連合自治会 役員 山田信一氏
温かなご用聞きねっとたんぽぽ 会長 延谷均氏
青年の社会参加を応援する会実のり 代表 黒川美知子氏
菟道第二学区福祉委員会 事務局長 矢野友次郎氏
コーディネーター：日本福祉大学社会福祉学部 教授 平野隆之氏

10の分科会

- A：近所の互縁を住縁に(町内会・自治会活動を通じた“縁”づくり)
- B：くらしを支える縁(円)づくり(生活課題に焦点を当てたつながりづくり)
- D：施設と地域の縁を奏でるハーモニー(施設と地域とのつながり)
- E：地域を舞台に“ねがい”の協縁(生きづらさを抱える人を通じて“住みよい地域”を考える)
- F：“おもい”と“おもい”を取り持つ縁づくり(活動をつなぎ合わせることによって新たな活動を展開する)
- H：縦縁(じゅうえん)でご近所福祉に取り組む多世代パワー(活動の担い手不足、次世代への引き継ぎを考える)
- I：住民と専門職が織りなす「縁」パワー(住民と専門職との連携の在り方)
- J：まちの縁側・居場所づくり(地域で気軽に集まれる居場所づくり)

心つながる

京の企業・東北応援プロジェクト発信事業

被災地の皆さんに向けた私たちにもできること

こんなに反響があったのも、被災した皆さんに何かしたい、何ができるのかという気持ちがあるからだと思います。本会もそんな気持ちをつなげてできることはないか考えています。皆さんも一緒に考えてみませんか？

こんなことができるかもしれない等ご意見がございましたら、ぜひ下記までお寄せください。

お問い合わせ

京都府社会福祉協議会

総務部 福祉経営推進室

きょうと福祉パートナー事業

TEL075-252-6292

この企画は、「東北へ 京のころを おせちに詰めて」の思いに共感をいただき、仮設住宅で住まいのみなさまに、おせちをお届けする活動などで認定NPO法人 阪神淡路大震災「1.17希望の灯り」と協働しています。

京都のおせちを二組購入してもらい、一組は仮設住宅の皆さんへ届けるといふ企画を京福電鉄が行った。購入者には岩手県大船渡市と陸前高田市の仮設住宅の皆さんに宛てた手紙も書いてもらい、おせちに添えて届けた。寄付や寄贈そのものではなく、同じものをいただいております。この心温まる企画に申し込みが殺到し、12月16日まで受付の予定が、9日には予定数を超える状況となった。



同じおせちを食べて
東北に心を寄せたい

■認定NPO法人 阪神淡路大震災「1.17希望の灯り」【東北と京都をつなぐ活動】

1995年1月17日に起きた「阪神淡路大震災」より、震災の体験・経験を語り継ぐ、被災により傷ついた方々との心の癒しなどを中心に活動を継続。「東日本大震災」発生直後より、震災からの経験を生かし、東北で被災をされたみなさまに、ささやかなプレゼントを届けよう!と「たすきプロジェクト」を発足。

社会福祉施設 しせつの損害補償



ホームページでも内容を紹介しています。
<http://www.fukushihoken.co.jp>

社会福祉施設のさまざまなリスクに対応するために!

プラン1 施設業務のための補償

(賠償責任保険、普通傷害保険、動産総合保険)

①基本補償

- 基本補償(A型)は、法人業務中、法律上の賠償責任が発生した場合、包括的に補償
- 見舞費用付補償(B型)は、賠償責任のない場合の見舞金が充実
- オプション1 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 施設の医療事故補償

②個人情報漏えい対応補償

- 個人情報漏えいによる法律上の賠償責任を負った場合(おそれのある場合を含みます)に補償

③施設の什器・備品損害補償

- 施設内の什器・備品を幅広い範囲で補償
- 施設の現金等も補償

●この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約(「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問合せは下記にお願いします。

◆加入対象は、社会福祉法人等が運営している社会福祉施設です。

全国社会福祉協議会のスケールメリットを活かし、充実した補償内容です。

プラン2 施設利用者のための補償

(普通傷害保険)

- ①入所型施設利用者の傷害事故補償
- ②通所型施設利用者の傷害事故補償
- ③施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

プラン3 施設職員のための補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険)

- ①施設の労災上乗せ補償
- ②施設職員の傷害事故補償
- ③施設職員の感染症罹患事故補償



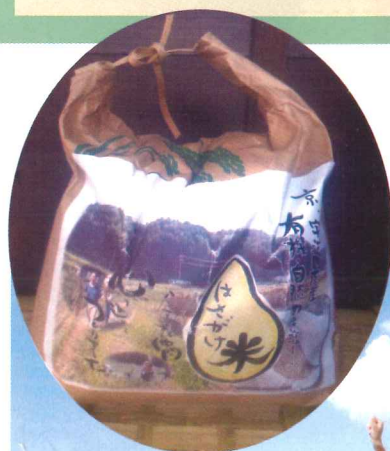
社会福祉法人
全国社会福祉協議会
〈引受幹事保険会社〉 株式会社 損害保険ジャパン

取扱
代理店

株式会社 **福祉保険サービス**
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

うちのこれがイチオシ!

京の逸品紹介します!!



農薬・科学肥料、一切不使用!
同胞の家のはさがけ米!
甘み、旨味が抜群です!



はさがけ米

① さがけ」をしました! 「はさがけ」をすることでミネラル分が豊富になり、糖度もアップすると言われていいます。食べれば味で確認できます!
② 米の選別作業には昔ながらの「とうみ」(くるとハンドルを回し、風で軽い米と重い米を分

障害者福祉事業所・施設のイチオシ商品を紹介するコーナーです。商品誕生のきっかけや“秘話”と共に、京都府内の隠れた逸品の「こだわり」をご覧ください!
☆このコーナーは、事業所・施設から寄稿いただいています。

今年の春に利用者さん達と青空の下、田植えした苗が実り、この秋、稲刈りをして収穫出来たお米です。
① 除草剤や化学肥料を一切使わず、厳選された有機肥料のみ使用! 稲刈りの時には、稲の陰に隠れていた小さな虫を狙ってたくさんの赤とんぼが飛び交う何とも言えない光景に職員一同感動しました!
② 太陽の光と、自然の風だけの力を使って乾燥させる、昔ながらの農法「はさがけ」をしました! 「はさがけ」をすることでミネラル分が豊富になり、糖度もアップすると言われていいます。食べれば味で確認できます!
③ 米の選別作業には昔ながらの「とうみ」(くるとハンドルを回し、風で軽い米と重い米を分

施設名 社会福祉法人/同胞会 同胞の家
住所/京都府宇治市小倉町西山44-4
電話番号/0774-20-4080
FAX番号/0774-20-2230
購入方法・販売場所/施設1階店舗「床の宿」にて毎週木曜(祝日を除く)11:00~14:00販売。お電話でのお問い合わせも受け付けております。3キロ1400円から販売しています。
※在庫がなくなり次第販売終了なのであらかじめご了承ください。

ける農機具)を用い、なるべく機械や化学の力を借りずに行っています。利用者さんの仕事としても人気の工程です。
④ 「もみ」の状態で保管し、注文を受けてから、精米作業。
⑤ 循環型の精米機(なるべく米に熱を加えない精米機)を使用。
同胞の家のお米は以上の5点にこだわり、手間暇かけた絶品のお米です。
施設1階店舗にて毎週木曜日に新鮮野菜やお漬物やお惣菜、パウンドケーキやかわいい雑貨などと一緒に販売させていただきますが、随時ご注文も承っております。
利用者さんやそのご家族の方々にも「たいへん美味しい」と言うありがたいお声をいただいております。食べればその違いに気づいていただけること間違いなしです!

●●●●● 読者プレゼント ●●●●●

■1名の方に紹介商品(1キロ)をプレゼントします。
応募方法:「京都の福祉」の感想、氏名、住所、電話番号をご記入の上、ハガキ、ファックスもしくはメールにて右記宛にお送りください。(メ切:平成24年2月末)
なお、発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。また、商品は販売事業所・施設より直送いたします。(当選者の住所・氏名を事業所に提供いたしますのでご了承ください。)

■宛先
京都府社会福祉協議会「京都の福祉」担当 宛
メール: so-mu@kyoshakyo.or.jp
FAX: 075-252-6310
住所: 〒604-0874
京都市中京区竹屋町通烏丸東入清水町375

FAX	お名前		連絡先	☎
	住所			
	「京都の福祉」の感想			

FAX: 075-252-6310 (京都府社会福祉協議会)



夢中!・熱中!ふくしびと

～だから続けたい この仕事～

利用者に寄り添い その人の生活を支える看護を

看護師 田中 涼子さん

(きょうと介護・福祉・ソーシャルネットワーク看護職確保検討チーム)

私は、長年、看護職として病院で仕事をしています。ある時、勤務異動により訪問看護ステーションで仕事をする機会がありました。そこで、高齢者の一人暮らしや認知症のご夫婦のみの二人暮らしの方など出会った中で、看護の在り方について深く考えさせられました。

ダーソンなどの看護論を軸にした予防的な看護や、病気による苦痛をできるだけ回避できるように、利用者により寄り添いその人の生活を支える看護を、今後も志向し続けたいと考えています。

病院で看護活動に携わっている際も、「看護とは何か?」とか「看護の本質とは?」など常に自問自答しながら、看護の在り方を模索し続けていました。訪問看護ステーションでの業務に触れて、看護の本来の在り方に気付かされた思いがしました。

私は、特別養護老人ホームの看護は訪問看護の施設版だと考えています。訪問看護ステーションの対象者は、地域の在宅療養者ですが、特別養護老人ホームの看護の対象者は、施設で暮らす高齢者です。特別養護老人ホームに入居されている高齢者の多くは何らかの疾患を抱えておられると共に、加齢とともに新しい病気を発症されることもあります。ナイチンゲールやヘン



プロフィール

施設名：社会福祉法人 健光園
高齢者福祉総合施設ももやま

氏名：田中涼子

職種：看護師

経験年数：健光園に入職後、約12年（看護職としては約40年）

好きな言葉：思いやり

夢中になっていること：自分の気持ちを豊かにするものに触れること（本質を伝える映画や音楽、演劇、美術鑑賞、読書など。ありのままの自然の風景に触れること：植物園散策、水族館めぐりなど。今、金魚鉢でメダカを飼育し、動きや成長を楽しんでいます。）



「京都の福祉」へのご意見、ご感想、とりあげてほしいテーマなどをお寄せ下さい。表紙の写真も募集中です。（テーマ「笑顔」）

本会へのご意見等は、左記URLの「お問合せフォーム」を通じてお寄せください。

京都の福祉

発行所 京都府社会福祉協議会

発行人 宮本 隆司

〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375

TEL 075-252-6291 FAX 075-252-6310

URL <http://www.kyoshakyo.or.jp>